



剣志

KEN SHI

2022年85号(令和4年6月)
発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典
幹事長 山田 雅士

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール

一点の 偽りもなく 青田あり

山口誓子

この見渡す限り青々とした水田の美しさはまったくもって美しく私はとても感動しています



6月18日、久留米ランテック道場において2022年6月例会が開催されました。当日の気温は33.9度を記録し、日本の中で最高気温を記録した真夏日でした。しかしながら、29名の会員が集まり、充実した稽古が実施されました。熱中症対策ために、空気喚気、室温調整、水分補給を取り入れて、暑さを感じさせない環境で稽古を終了することができました。

【稽古会】

日時:令和4年6月18日(土)午後3時~4時30分

場所:(株)ランテック剣道場

久留米市宮ノ陣町若松1-3 Tel:0942-36-4125

【出席者:29名】(順不同、敬称略)

尾方正照先生 小島良守先生 池田純洋先生 山田雅士先生

(当地区八段の先生4名)

秋山勝年、宇佐輝彦、大隈光夫、大塚勝也、小川金吾、小川邦昭、加野資典、佐藤博喜、澤木孝明、澤木直子、下林千代鬼、平嘉和、武田耕次、田中昭彦、田中義勝、中道政生、永岡義規、西田耕陽、掃本博、溝口勝正、森雅敏、森迫多美子、大和竹史、若松清孝、渡邊寛二、以上29名

【加野会長挨拶】

会員の皆様、暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。今月もランテック道場をお借りして例会が開催されることを喜ばしく思います。

今年は八月に名古屋で八段の審査が開催されます。なぜ、審査が増えたのか、私は知りませんが、京都の合格者は5名でした。大変厳しい結果だと思います。しかし、私は名古屋を受審します。他にも受審される方が、いらっしょると思います。今回出席されている会員の中には、一次合格者が多数おられます。是非、精進して二次審査も合格されるように頑張ってください。

冷房がある室内で稽古ができることを幸せと思っています。皆さん、思う存分汗を流してください。

【相互稽古】

初めに山田雅士先生のご指導で基本稽古を実施しました。

①面打ち、大きく、小さく、強く、打ちぬける、途中で止まらない、左拳を落とさない、両腕をしっかり伸ばす。遠間から、早く、強い打突を目指す。

②メン、小手に対する応じ技の稽古、相手の打突の動きに遅れない、先を取る、右鎧ですり上げる。
(約20分)

【指導稽古】

熱中症対策のため、指導稽古における稽古時間は3分×5回、3分休憩、3分×5回、10分休憩(水分補給)、20分の自由稽古

元立ちの先生は、八段4名および下林先生、森先生、平先生、溝口先生の8名から指導をいただきました。

【講話】

尾方正照先生

皆さん、本日の稽古はいかがでしたか。納得のいく一本が、前半5回、後半5回の地稽古の中で出せたかどうか重要です。

それは、一生懸命、無我夢中になることでできるものです。そのところの目標をよく考えて稽古をやることです。柳生新陰流の免許皆伝は「習」「錬」「工」の3つの文字があります。「習」は「基本」、「錬」は「稽古」、「工」は「工夫・研究」です。また、宮本武蔵の言葉に「千日の稽古をもって鍛となし、万日の稽古をもって錬となす」とあります。さらに「観見の目」の中で、「見の目より、観の目を鍛えよ」と言い残していて、目で見ると相手を読むことが重要と言っています。

これらを納得して稽古をやる。それをしていないと審査で「まごつく、うろたえる」ことになります。この会員の中にも難しい先生がおられますが、どう扱うか、どう対応するか、が自分で出来ないといけません。難しい審査ですが、合格している人は必ずいるので、九州からも合格してもらいたいと願っています。8月はすぐきます。ご検討を祈ります。

池田純洋先生

私は2点あります。いずれも若いころ(20代)に、当時の先生から聞いた言葉です。

第1点は、審査に受かるためにはどうしたらいいのか、「片足一本折れるぐらい、肩腕一本おれるぐらいまでやれ」でした、私には出来ませんでした、それぐらいの気持で稽古をやりなさいという話です。

第2点は、試合に勝つためにはどうしたらいいのか、「気が狂わなければダメだ、まともに考えてやってもダメだ」でした。そこまで自分の気持を出すことによって、知らないうちに勝つことにつながるという話です。参考になれば、幸いです。

令和4年7月九州地区クラブ例会模擬審査会のご案内

※開催日、開始時間を変更しています。(道場都合により)

日時: 令和4年7月30日(土曜日)14時30分～16時30分

模擬審査会 14時30分～15時30分(予定)

審査員: 尾方正照先生、野口慎一郎先生、小島良守先生、池田純洋先生
六段、七段、八段受審予定者(参加者が少ない場合は相互稽古に変更して、
終了時間を早めます。)

参加ご希望の方は組み合わせ等準備がありますので、7月10日までに返信メールまたは電話で、山田、溝口まで、連絡をお願いいたします。

※模擬審査ご希望の方は、14時集合にてお願いいたします。

山田: m.yamada.kokura.k8@gmail.com

溝口: yumehome@d7.dion.ne.jp

指導稽古 15時40分から16時30分

熱中症対策の稽古を実施します。

福田博文先生、杖道称号「範士」に合格されました。

去る、5月6日京都市武道センターにおいて、剣道・居合道・杖道の称号審査会において、当地区会員の福田博文氏が範士に合格されましたので、ご報告致します。

新入会員ご紹介 《掃本博(ほきもとひろし)》

このたび、国際社会人剣道クラブに入会しました掃本博(ほきもとひろし)、読み方が難しい苗字です。簡単ですが、自己紹介させていただきます。熊本県水俣市で、水俣鍼灸院を開業しています。剣道は中学生より始め鹿児島商工(現樟南)愛知学院大学、現在教士七段、居合道四段、社会体育指導員上級を取得しました。まだまだ未熟で、先生方、先輩方と稽古を積み多くの気をいただき、勉強させていただきます。田舎侍で、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします



《連絡事項》

1. 稽古参加の時はマスク着用、検温(各自)をお願いします。体調不良の方は、稽古会のご参加はご遠慮願います。(体温計、消毒液は準備しています。)
2. 稽古会には遠方より参加して頂いておりますので、交通事故等にはご注意ください。
3. 会費未納の先生は、納入をお願いいたします。